

令和2 (2020)年度

事業計画

学校法人 工学院大学

2020年 3月13日

2020年 7月 3日 一部修正

2020年度事業計画

< I. 大学・大学院 >

1. 21世紀型の工学教育の実践とその改革

1.1 21世紀型の工学教育プログラムの推進

- (1) 先進工学部新専攻(航空理工学専攻・宇宙理工学専攻)のプログラムの充実
- (2) 認証評価を通じた内部質保証システムの検証・改善
- (3) 学部・学科・専攻横断型の教育研究活動の推進

1.2 国際・教養・キャリア教育(科目)の整備、強化

- (1) コミュニケーション能力を高める教育の強化
- (2) 新留学プログラム(ディプロマツト留学)の試行
- (3) キャリアデザインセンターによる教育の充実

1.3 大学院の拡充

- (1) 先進工学部大学院接続型6年一貫コース開設をはじめとした大学院進学への奨励強化
- (2) 大学院共通科目の開設などによるカリキュラム充実

1.4 学生支援プログラムの一層の充実

- (1) 学生プロジェクトなど、正課外活動への参加学生のサポート強化
- (2) 授業やe-ラーニングによる学生の安全管理教育の推進
- (3) 就職支援センターおよび学生センターによるサービスの充実

2. 研究活動の戦略的な発展

2.1 イノベーションの創発を推進する取組

- (1) 共生工学研究センターなどにおける研究拠点の構築

2.2 研究分野におけるパートナーシップの拡大

- (1) 医工連携新プロジェクトの立ち上げ
- (2) 産学共同センターなどの活用による共同研究の推進
- (3) 海外研究機関との共同研究の推進

2.3 研究力の発信と社会連携の増進

- (1) イノベーションジャパンなどによる研究成果の積極的発信

2.4 研究及び実験環境の充実

- (1) 研究・実験設備の学内共同利用管理の検討
- (2) 安全・清潔な研究・実験環境の整備

3. キャンパス、教育・研究環境の整備

3.1 新宿・八王子の地の利、戦略性を生かした教育・研究環境の整備

- (1) 新宿キャンパスにおける中長期のリニューアルに向けた改修計画の策定
- (2) 犬目校地の有効活用の具現化に向けた準備

3.2 ダイバーシティに対応した学び、働きやすい環境

- (1) ダイバーシティの時代に対応した学生支援、サービス、設備の充実

3.3 ICTの活用などによる情報環境のグレードアップ

- (1) 先端的な工学教育プログラムを支える情報環境・体制の整備

3.4 施設・設備の安全管理の徹底

- (1) 安全な研究・実験環境の維持

3.5 新型コロナウイルス感染拡大への対応

- (1) 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)感染拡大による遠隔授業実施体制の構築
- (2) 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)感染拡大の影響による学生へのサポート

<Ⅱ. 附属中高>

1. 変容するグローバル社会で活躍できる人材の育成

1.1 21世紀型教育の進化と深化

- (1) 「思考コード」等を活用した「PBL型授業・テスト・評価」の実践
- (2) グローバル教育3.0、21世紀型のリベラルアーツ・STEAM教育の再確認
- (3) CEFR基準でC1を目指せる英語力育成環境の確立
- (4) グローバルプロジェクトへの生徒の積極的参加
- (5) 「探究論文」への取り組みを通じた科学的思考の涵養

1.2 「工学院」ならではの理数教育の充実

- (1) 中学ハイブリッド3クラス、高校ハイブリッド4コースの更なる充実
- (2) STEAM教育実践のための大学との連携強化
- (3) 数学教育の更なる強化
- (4) プログラミング教育の構築と運用

1.3 進学指導の充実・強化

- (1) 内部進学のための理数教育の強化と進学奨励
- (2) 難関国公立大学への受験指導の強化
- (3) 海外大学への進学準備教育の充実

2. キャンパス、教育環境の整備

2.1 大学キャンパスを活用した中高教育の実施

- (1) 八王子及び新宿キャンパスにおける中高教育の実践
- (2) Fabスペースの活用など、創造的思考を育成する「ものづくり」プログラムの構築と運用
- (3) STEAM教育実践のための学園施設・設備の有効活用

2.2 ICT環境の充実

- (1) 教育・スクールライフをサポートするICT環境の充実

2.3 新型コロナウイルス感染拡大への対応

- (1) 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)感染拡大の影響によるオンライン授業実施体制の構築

<Ⅲ. 学園全体>

1. 経済社会のグローバル化への対応

- (1) 「ハイブリッド留学(大学)、ディプロマット留学(大学院)やグローバルプロジェクト(中高)」などを通じた、国際舞台で活躍できる21世紀型ものづくり人材の育成
- (2) 国際交流センターの設置の検討・準備
- (3) 国際交流プログラム及び国際ネットワークを活用した外国人留学生等の受け入れ・支援の質的充実

2. パートナーシップ(社会連携)の拡充

- (1) 八王子市・同商工会議所、新宿区等との連携推進
- (2) 地方創生の一環として地方企業への就職促進
- (3) 「大学コンソーシアム八王子、医薬工連携プロジェクト」など、国内大学との連携
- (4) 「SSH指定校」、附属中高など、高大接続の強化
- (5) 世界の優れた大学との連携
- (6) 卒業生・校友会との連携強化

3. 社会貢献

- (1) 地球環境問題、SDGsへの貢献を意識した教育研究活動の推進と関連事業への積極的協力
- (2) 共生工学(ジェロンテクノロジー)分野の研究活動の推進
- (3) まちづくり、防災・減災分野の研究成果の提言や助言
- (4) 科学技術の普及事業への積極的な参画
- (5) 新宿区との連携によるパラリンピック支援事業への協力
- (6) 優秀な留学生の受け入れと支援

4. 優れたガバナンスと教職員一体による簡素で合理的・効率的な組織・事務運営

- (1) 私立学校法などの法改正に対応して整備されたガバナンス下での適正な事業運営
- (2) 組織改定に伴う事務処理体制の充実と、より効率的な実施
- (3) 働き方改革に伴う人事制度の見直し
- (4) 新事務システムの導入と新システムを活かした事務の一層の簡素・合理・標準化
- (5) 学園の情報資産としてのデータ有効活用の推進

5. 将来への投資

- (1) 中期計画「コンパス2023」後半の計画見直し
- (2) 投資計画に基づく教育・研究環境整備への重点的な投資の実施
- (3) 収入の多様化(寄付含む)と健全で堅固な財務基盤の確保

6. 積極的な発信

- (1) 新ホームページ、SNSを軸とした発信力の更なる強化
- (2) 新アトリウム竣工に伴う、新宿キャンパス(Tokyo Urban Tech Tower Campus)の情報発信
- (3) 「学生プロジェクト」など、学生アクティビティの発信力強化
- (4) SDGsに貢献する研究、社会貢献活動及び各学部の特徴・取り組みの積極的発信
- (5) インナーコミュニケーションの促進・強化